

# 令和4年度実績概要

# 1 令和4年度の実績概要

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響を強く受けた令和3年と比較し観光客数が回復に向かった1年となりました。

令和4年6月10日からは観光目的の外国人の入国受け入れが再開され、水際対策が緩和されました。感染拡大を防ぐ観点から、添乗員付きのツアーに限定しての受け入れとなりましたが、10月11日には入国者数の上限が撤廃され、個人の外国人旅行客の入国も解禁されました。また、同日から全国旅行支援が実施され、観光需要喚起策が再開されました。

JNTOが発表した令和4年訪日外客数は前年比+約1,359%、鎌倉市の延べ観光客数も前年比+約82%と前年を大きく上回りました。

鎌倉市においても、3年ぶりに市内海水浴場を開設するなど、これまで中止となっていた行事が再開しました。

加えて、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送に関連し、大河ドラマ館が令和4年3月1日から令和5年1月9日まで設置され、鎌倉殿、13人の重臣ゆかりの地や、鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館等の関連施設にも多くの方に足を運んでいただきました。

ゆかりの地の紹介にあたっては、これまで認知度の低かった史跡などを含む観光地点の紹介を行い、混雑状況の発信や観光マップの配布とあわせ、混雑対策とコロナ禍における3密回避のため、観光客の分散化に努めました。

今後も新型コロナウイルスと共存した観光施策の推進を前提に、引き続き「成熟した観光都市鎌倉」を目指すための取り組みを進めていきます。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくりまします。」

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

鎌倉の持つ様々な魅力や価値が世界に誇る貴重な財産であることを認識し、観光に携わるあらゆる主体が連携・協力して、誰もが「住んでよかった、訪れてよかった」と思える成熟した観光都市を目指します。

目標Ⅰ「歴史、文化、自然、景観といった様々な遺産を保存・継承しつつ、知られざる鎌倉の魅力や価値を掘り起し、新たな観光資源として発展・向上させます。」

目標Ⅰは、鎌倉の持つ歴史的・文化的遺産や、美しい自然景観の保持に努めつつ、それらを観光資源として発展及び向上させることを目標としています。

令和4年度は、令和3年度に引き続き鎌倉花火大会は中止、鎌倉まつり「静の舞」と鎌倉薪能は非公開で開催し、オンライン配信としました。

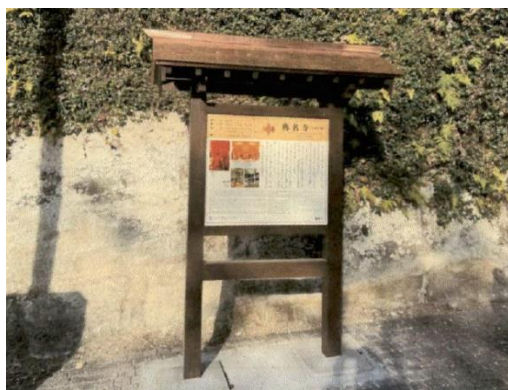
観光課で整備を行っている観光案内板の修繕等については、来迎寺（材木座）名所掲示板の新設、称名寺名所掲示板のリニューアル等の修繕を行いました。

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会においては、鎌倉殿、13人の重臣ゆかりの地周遊ルートを紹介するなど、これまで認知度の低かった史跡などを含む潜在的な観光地点の紹介を行ったほか、鎌倉ガイド協会と協働で「大河ドラマ館発ガイドツアー」、「小・中学生向けガイドツアー」も実施し、多くの方にゆかりの地へ足を運んでいただきました。

また、大河ドラマ館でドラマ世界を楽しんでいただくとともに、鎌倉に伝わる文化財に触れ、深く歴史を知っていただくことを目的として、大河ドラマ館の入館パンフレットの提示で「北条氏展」が開催された鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館へ無料で入館できる等、文化施設との連携も行うことで、知られざる鎌倉の魅力の周知を図りました。



鎌倉殿・13人の重臣ゆかりの地周遊マップ



リニューアルした称名寺名所掲示板

目標Ⅱ「成熟した観光都市としての鎌倉に市民が誇りや郷土愛を感じつつ、安心して穏やかに暮らせるまちをつくります。」

目標Ⅱは、市民生活と観光振興の両立を図り、市民の観光に対する理解を向上させることで、成熟した観光都市鎌倉をつくりあげることが目標としています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点と、従来からの課題である鎌倉の観光名所の混雑対策とを併せ、安心した市民生活の維持に努めました。

感染症対策については、ホームページ等でも定期的に周知を行い来訪者へ感染症対策を徹底した鎌倉観光をお願いしました。

ホームページ「鎌倉観光公式ガイド」には、「鎌倉観光混雑マップ」を掲載し、主要観光地の混雑状況を可視化し、観光客の自主的な混雑回避を促しました。

また、3年ぶりに開設した海水浴場では、来訪者の安全対策のためのライフセーバーによる海岸監視、風紀維持のための警備員によるパトロール等を行い、海の日には津波避難訓練も実施しました。



鎌倉観光混雑マップ



夏季鎌倉海岸の  
津波避難訓練の様子

目標Ⅲ「誰もが安全で快適につつがなく鎌倉で学び楽しめるように、観光客を受け入れます。」

目標Ⅲは、観光の形態や属性に関わらず、観光客の誰もが鎌倉の観光に対して高い満足感を抱き、安全で快適な環境のもと鎌倉の魅力や価値を学び楽しむことができることを目標としています。

市民団体「鎌倉・文化の森」との協働事業では、例年発行している「鎌倉市観光案内図」をリニューアルしました。

小中学校向けに作成している「かまくら課外授業ガイド」では、トッパン・フォームズ株式会社（現「TOPPAN エッジ株式会社」）から、文化貢献活動の一環として寄贈された「北条双六絵巻」を追加し、大河ドラマの放送で注目された北条氏 150年の歴史を楽しく学べるようページを増やしました。



鎌倉市観光案内図



かまくら課外授業ガイド



## 目標Ⅳ「観光の振興を地域の活性化につなげます。」

目標Ⅳは、観光の振興や観光産業に携わっている民間事業者や関係団体が、その活動にやりがいを感じ活躍することができる地域社会の生成を目標としており、「歩く観光」「泊まる観光」を推進することでより多角的な観光消費の拡大を目指しています。

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会では、大河ドラマの放送を契機に、コロナ禍で低迷した地域経済の活性化や観光客の集中地域以外への誘客等を図るため、大河ドラマ館の設置やゆかりの地のPRといった施策を実施したほか、「交通安全キャンペーン」などの地域振興策も展開しました。

また、日本遺産いざ鎌倉協議会では、山口県下関市で開催されたイベント「日本遺産フェスティバル in 関門」に参加し、構成文化財のひとつである伝統工芸品「鎌倉彫」のPRを行いました。



鎌倉殿の13人 大河ドラマ館



日本遺産サミット in 関門 展示ブース